

あさな!

令和2年7月9日(木) No.11

文責: 矢田部 瑞穂

「浅内活性化プロジェクト」始動!

7月1日付けで配付したおたよりでも説明いたしましたが、今年度の大きな目玉は「地域を愛し、地域に愛され、地域を創る」をテーマにした「浅内活性化プロジェクト」です。この活動を通して子どもたちに身に付けさせたい力は、「自己有用感」です。教育目標「学ぶ楽しさ 生きる喜び 瞳かがやく浅小っ子」に向け、子どもたち一人一人が「自分は誰かの役に立つ」「自分にはよいところがある」といった「自己有用感」を高めるために、「浅内活性化プロジェクト」を通し多くの人たちとの関わりから自分を見つめ直す機会をつくりたいと考えました。最終的には、浅内地区のよさをポスターで発信し、地域の皆様を元気にすることが「地域を創る」意識の向上につながると考えています。

今後、子どもたちが学校や地域で学んだことをご自宅で話すことが多くなると思います。ぜひ、子どもの話に耳を傾け、さらに保護者の皆様のアイデアを伝授いただければと思います。ご協力をお願いいたします。

◆今後の活動内容◆

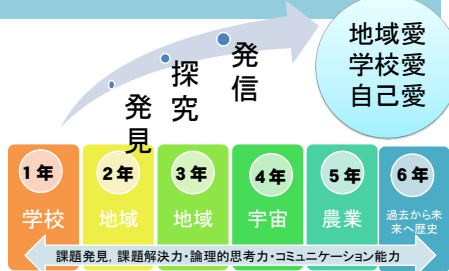
- 第1弾: 講話「わたしたちのふるさと」(浅内小学校出身・元能代南中学校長: 浅野士郎氏)
- 第2弾: 説明会「浅内活性化プロジェクトについて」(総合的な学習の時間担当: 櫻田道一教諭)
- 第3弾: 全校遠足「浅内探検に出かけよう!」(ふるさと・キャリア教育担当: 嶋田康弘教諭)

各学年ごとに活動する (活動内容については左下にあるとおり)

- 第4弾: 浅内のよさを発信しよう! (各学年ごとにポスター作成)

浅内活性化プロジェクト

○○○いざ出陣!



6 / 30 浅野士郎先生による講話



講演後、浅野先生に質問した5年武田柚さん。「浅内小のよさは何だと思われますか?」浅野先生は、何年間も一緒に過ごせる仲間がいることだと話されました。



姿勢を正して浅野先生のお話を耳を傾ける浅小っ子

◆保護者の方からうれしいおたより◆
昨日の講話がとても面白かったそうです。原田五右衛門さんと同姓なので親近感があつたのかもしれないですね。地域の歴史を知る機会があつてとてもいいなと思いました。こんな機会を与えてくださり感謝です。ありがとうございました。

【3年 小川さん】

わたしは、浅野先生の話聞いて米代川がどこにあるか調べてみたいと思いました。今度はお母さんと一緒に米代川を見に行きたいと思いました。あと、3年生のみんなと櫻田先生とたんけんしてみたいと思いました。

【6年 小川さん】

私が初めて知ったことや興味をもったことは、寒川の土器のかけらについてや神社にまつられている神様についてです。土器のかけらについては、復元された土器をもっと詳しく見てみたいです。神様については、本でイザナミノミコトを見たことがあるので、浅野先生のお話に出てきてわくわくしました。もっと本やインターネットなどで詳しく調べたいと思いました。

※6年小川さんは、当日お話を聞いてすぐに自分の考えをまとめ、浅野先生御礼の言葉を述べました。



謝辞...6年 小川さん

体験・経験・人との関わりが心を強くする

7 / 3 4年生体験学習



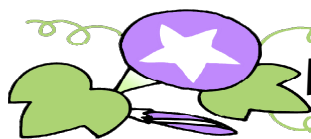
磯遊びを満喫した4年生！

7月3日に4年生があきた白神体験センターで体験学習を行いました。例年、宿泊体験をしておりましたが、今年度はコロナウイルス感染症対策により宿泊を体験することはできませんでしたが、子どもたちは夏ならではの海や山を十分に楽しんで帰ってきました。

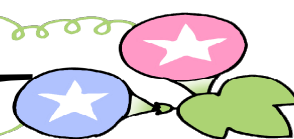
里山トレッキングでうらが白い葉を探すとというミッションが難しかったけれども、がんばって見つけました。シーカヤックのはじめと終わりのあいさつでは、大きな声で言えたのでよかったです。シーカヤックも岩からの飛び込みも、できたらもう一度やってみたいです。◆4年 松山さん◆

7月7日（火）七夕に、月1回の校長授業を行いました。今回のテーマは「心が強い人」です。いきなり「『心が強い人』ってどんな人ですか？」と、聞きました。みんなううむと悩む中、真っ先に手を挙げたのが3年生の畠山さん。畠山さんは、「心が強い人とは、『みんなを守れる人』です。」と答えてくれました。前の全校集会の時もそうですが、畠山さんの考える力とその勇気に感動します。続けて何人かが答えてくれたのですが、みんなをうならせたのがやはり6年生の保坂龍さんです。保坂さんは、みんなの考えをまとめてくれるかのように「心の強い人は、前向きな人だと思います」と。もちろんこのような問いに正解はありません。ただ、保坂さんのその「前向き」という言葉は、私が予想した言葉の数々を超えるすばらしいまとめでした。その後、心の強い人だったらどのように反応するか3つの例を出してロール・プレイングを行いました。そして最後に6年生で力持ちの越後さんに普通の木と竹の木を折ってもらいました。普通の木は簡単に折れましたが、竹は折れませんでした。「竹には節というものがあり、しなやかに曲がってもなかなか折れない強さがある」ことを説明しました。私が本気で竹の木を折ったら折れてしまうというハプニングもありましたが、「それでも、竹はバラバラになっていない。」と1年生の原田さんがフォローしてくれたおかげで無事に終わりました。(^^)

「竹の節」は、きっと人間で言ったら「苦しさや辛さ」だと思うのです。それを経験するからこそ、強くたくましく育っていくと。だから、私は子どもたちに、たくさん経験してたくさん失敗してほしいと思っています。竹のようにしなやかに強く。



瞳かがやく浅小っ子コーナー



6年 保坂さん

7月7日の全校集会の内容を上に記載していますが、そこで、発言した保坂さんの「心の強い人は、前向きな人だと思う」という言葉が心に残りました。全校集会では十分に考えを聞く時間が無いため、昇降口を掃除している龍昊さんに詳しく聞いてみました。「心の強い人は前向きな人という考えは、龍昊さんがどんな経験をしたら出てきた言葉なの？」と。その問いに対して5秒くらい考えたでしょうか…「僕は、辛いことや苦しいことがあったとき、また何か失敗したときには、自分のマイナスな部分ではなく、自分の得意な部分を出そうと意識しています。得意な部分を出しているうちに辛いことが薄らいでいきます。だから、それが、自分の心の強さだと思っています。」と。

心の底から感動しました。私もそうありたい。子どもから学ぶことがたくさんあります。